

# 進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様をマップに掲載していく形でご紹介します！



■ 旧ふれ愛センターみやしろ（現 福祉交流館 すてっ宮代）

あらゆる人々が世代間交流する施設として、1990年8月にオープン。西原自然の森に囲まれた緑豊かな環境の中にあり、入浴施設もありました。今は「福祉交流館すてっ宮代」として生まれ変わり、宮代町社会福祉協議会が管理運営しています。



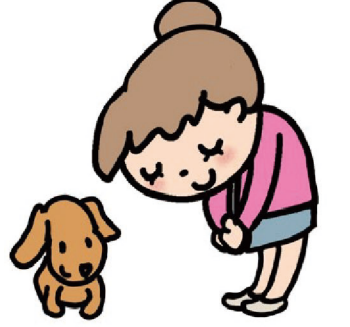
- 町外の皆様
- ・(株)彩和とらすとサービス (白岡市小久喜)
  - ・杉戸町障がい者支援センター (杉戸町清地)
  - ・日の出 (幸手市中)
  - ・(株)あおば保険事務所 (春日部市中央)
  - ・白田陽介税理士事務所 (久喜市久喜東)
  - ・CAFE パロキア (久喜市菅沼町)
  - ・入間市文化創造アトリエ AMIGO! (入間市仏子)
  - ・象設計集団 東京事務所 (東京都狛江市)
  - ・沖縄県今帰仁村役場 (沖縄県国頭郡今帰仁村)
- 配布などでご協力いただいている方々
- ・ふれあいクラブ (宮代町宮代台)
  - ・～語りと和楽の芸人衆～ かたりと (東京都北区)

■ 進修館だよりで交流させていただいている自治会をご紹介します！ (50音順)

- |          |         |             |            |          |
|----------|---------|-------------|------------|----------|
| ・内野      | ・新中町会   | ・中須地区       | ・宮代1丁目第2町会 | ・和戸2丁目2区 |
| ・笠原2丁目町会 | ・新道三区町会 | ・中寺地区自治会    | ・宮代学園台自治会  | ・和戸3丁目   |
| ・川端一区自治会 | ・新道第一町会 | ・東条原自治会第1地区 | ・宮代台自治会    | ・和戸4丁目1区 |
| ・川端二区自治会 | ・新道第二町会 | ・東条原自治会第2地区 | ・桃山台自治会    | ・和戸4丁目2区 |
| ・川端三区自治会 | ・辰新田町内会 | ・姫川二区自治会    | ・山崎        | ・和戸5丁目地区 |
| ・国納北     | ・中央第1町会 | ・姫宮南団地自治会   | ・柚の木二区自治会  |          |
| ・国納南     | ・中央第2町会 | ・藤曽根地区      | ・和戸1丁目町内会  |          |
| ・逆井地区    | ・道佛1区   | ・宮代1丁目1町会   | ・和戸2丁目1    |          |

## 大ホールがワクチン接種会場になります。

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となることから、進修館の大ホールは下記の期間ご利用いただけません。ご利用のみなさまには大変ご迷惑をおかけいたします。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



ご協力をお願いいたします。

- ・利用制限施設：大ホール
- ・利用制限期間：2023/09/01（金）～2024/01/31（水）（予定）



## マスクの着用について

2023年3月13日（月）に、マスク着用の考え方が見直されました。進修館ご利用の際も、国の方針に従いマスクの着用は任意とさせていただきます。

ただし、咳・くしゃみ等の症状がある方は、マスクを着用するなど基本的な感染予防対策にご協力ください。何卒よろしくお願いいたします。

## 利用者カードをご利用ですか？

皆さんは、利用者カードの存在をご存じですか？  
進修館では施設ご利用の際には利用者登録をおすすめしております。登録されると「利用者番号カード」が発行され、フォームの入力項目が少なくなります。仮予約・本申請の手続きがスムーズに行えますよ。是非ご利用ください！



進修館だより 2023年4月号（第25号） 第1版：2023/03/27 発行  
発行元：宮代町立 コミュニティセンター進修館  
（指定管理者：特定非営利活動法人 MCAサポートセンター）  
住所：〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL：0480-33-3846  
URL：https://www.shinsyukan.or.jp E-mail：info@shinsyukan.or.jp

## 「コミュニティ事業」 和戸宿集会所でサロンを開催しました。

みんなでワイワイ楽しく学ぼう！

### スマホサロン

【日時】  
2023/02/15 (水)  
10:00～12:00  
【場所】和戸宿集会所  
【費用】300円 (お茶菓子付き)  
【定員】各回15名 (要申込)



- そもそもスマホでどんなことができるの？
- 持っているけれど使い方がわからない！
- もっと日常生活でスマホを使いこなしたい！

日常生活におけるスマートフォンの基本から便利な使い方まで、デジタルの専門家である講師がひと通り解説します。その後、サロン参加者からのご質問にお答えしながら、みんなでスマートフォンについて楽しく語り合います。



主催：和戸町内会  
共催：コミュニティセンター進修館  
申込：進修館 受付窓口 ☎0480-33-3846  
※スリッパをご持参ください。  
※室内でのマスク着用など、感染対策にご協力をお願いします。

進修館のスマホサロンは、教科書を用いて講師が教えるスタイルではなく、皆さんが日常で困っていること・やりたいこと等を、講師を交えてみんなでざっくばらんに話し合うスタイルで行っています。

講師の助言のもとに、参加者同士が教え合ったりしながら、ワイワイ楽しい時間を過ごしています。

進修館では、2023年度より「コミュニティ事業部」と称して、地域へ出向いていく活動を本格的に開始します。これは、進修館だよりの配布時などに職員が感じた、「地域や自治会のお困りごとに対して、何かできないだろうか？」という思いがきっかけでした。とくに地区・自治会長さんとお話をすると、「自治会加入のメリットが感じられないと言われてしまう」「近所に住んでいるのにお互いを知らないことも多く、コロナ禍でそれが加速してしまった。」などのお声をいただきます。そうしたことの一助になれば、ということで、和戸町内会にご協力いただき、和戸宿集会所を会場に「スマホサロン」を先行開催しました。

この「スマホサロン」は、スマホを話題に地域の方が集会所に集い、和やかに話をしながらコミュニケーションをとっていただくというもの。スマホに関するお困りごとの解消も然ることながら、顔が見える関係づくりを図る取り組みです。2月～3月にかけて合計3回開催したサロンの参加者は延べ34人。役員さんを合わせると40人ほどになりました。こうした関係づくりは時間がかかるものですが、参加された方の「また開催してくださいね！」という笑顔に背を押していただきました。

## 皆様からの声をお届け！

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様の声をお届けするコーナーです。

中学1年生のときに宮代町に引っ越してきたという佐藤恵祐さん。大学生の時に「ふれ愛センターみやしろ」を訪れたのがきっかけで青少年相談員となり、宮代町のまちづくり委員会や“みやしろの顔づくりプロジェクト”など様々な活動に関わり、東小学校のPTA会長も務められました。そんな佐藤さんにお話を伺いました。

### 質問1 「佐藤さんから見た進修館の印象は？」

- ・子どもの頃は「意味なく行ってはいけない場所」だと思っていて、中に入ることはなかったし、ロビーにも行くことはなかった。現在の芝生広場はなく役場庁舎が建っていて、その後ろに進修館があったから、当時はそんな印象だったのかもしれない。自分には中学生の子どもがいるが、放課後などに友達との待ち合わせ場所として気軽に進修館を利用しているようだ。
- ・20代で青少年相談員をやるようになってからは、打合せなどで進修館を利用することが多かった。また、宮代町のまちづくり委員会に参加し、その活動の一環で、進修館のロビーの活用を検討したり、みやしろの顔づくりプロジェクトでは、当時象設計集団にいた平井秀人さんと知り合い、まちづくりに関する考え方などを教えてもらった。自分から積極的に何かをやるというより、人に声をかけられて広がっていくことが多いが、そういう関りのきっかけになったのが進修館だった。
- ・進修館はとてもシンボリックな建物。それが日常的に存在しているというのはすごいことだと思う。ガラス張りで明るいコミュニティセンターは多いが、ちょっと変わっている進修館だからこそ愛着がわく。



「今は『東小子どもアソビバ』のことが頭の中の8割を占めているんです」と話す佐藤さん。実現のためには多くの人の協力が必要です。新学期からの募集開始に向けて最終調整に奔走する毎日だそうです。



「東小子どもアソビバ」は東小学校の校庭や体育館で月に1回開催予定。子どもたちが気軽に遊べる居場所を、地域の子供会や青少年リーダーなど、地域が協力して見守る活動です。基本的に子どもが自由に遊ぶ場ですが、簡単なスポーツや遊びも準備されているそうです。

### 質問2 「今後の進修館に、どのようなことを期待しますか？」

- ・進修館は地域コミュニティの中心だと思っている。地域の居場所は色々あっていいし、またそういう場所が無数にあるといいと思う。それをつなげるのが進修館なのだと思う。
- ・進修館に期待することは、つながりのきっかけをつくるということ。いろいろなことを始めるにあたって、情報提供や手助けをしてくれる場所になってほしいし、中間支援としてのコーディネート力を発揮してほしい。
- ・関わるきっかけになる声のかけ方はコーディネーターの力量次第。人によってタイミングは違うので、無理強いするのではなくつなげていくのがいいと思う。顔見知り程度のゆるやかで曖昧模糊としたつながりを少し遠い目でみながら、長い目で見たきっかけの提供をしてもらえたらいい。

宮代町で様々な活動に関わっている佐藤さんですが、そのきっかけはいつも「人から声をかけられること」だったそうです。また、そうして地域とつながりつづける原点の1つとなっているのは、ご自身が子どもの頃に経験した、子どもたちがやりたいことを大人が見守ってくれていた“子ども会活動”とのことです。子どもの頃に地域のつながりに触れていることの大切さを実感しているからこそ、これからの子どもたちにもそれを繋いでいきたいと話していました。

そしてこの春、佐藤さんは仲間と共に、東小学校区で「東小子どもアソビバ」という活動をスタートします。子どもを見守りながら地域がつながる取り組みが始まります。

## 「公募型共催事業」 実施団体が決定しました！

2023年度に進修館と共催する事業について企画募集を行ったところ、6点のご応募をいただき、内2点を採択いたしました。

- カンパニー・ヒュッグ (音楽事業)
- 劇団みんなのはらっぱ 深谷由梨佳 (ツアー型演劇)



開催日時や内容詳細などにつきましては、後日本誌にてお知らせいたします。いずれも、進修館の新たな魅力が発揮される企画です。どうぞお楽しみに！

## 「ちょっとコラム」

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様からお寄せいただいた情報をご紹介します。

マスコミによると今年の花粉飛散量が例年の3倍、5倍、10倍等様々な報道がされておりますが、今年は今まで症状がなかった方にもあらわれていると、当社の薬局・ドラッグストアで聞いております。一度症状がでると毎年症状があらわれますが、何のアレルギーが原因なのかは人によって違うため、病院でアレルギー検査が必要です。現状の対処としてはマスクの着用、手荒うがい、部屋に入るときには衣類のほこりを払うようにして下さい。症状が酷い方は耳鼻科でいくつか予防治療方法もありますし、当店へお越しただければ緩和するお薬等ご相談をさせていただきます。

社名：株式会社 セキ薬品  
住所：宮代町百間4-2-22  
代表取締役会長 関 伸治  
代表取締役社長 関 善夫  
(会長・社長は、百間中学出身)



宮代町で1973年に創業。今年で創業50周年！